

EDUCATION IN KYOTO PREFECTURE

京都府の教育

2008

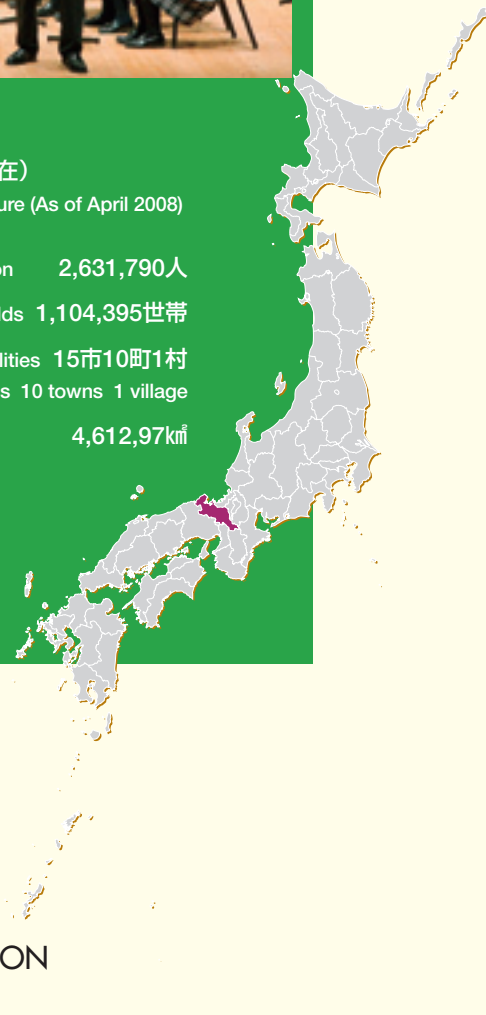


京都府の概要


(平成20年4月1日現在)

Outline of Kyoto Prefecture (As of April 2008)

- 人口 Population 2,631,790人
- 世帯数 Households 1,104,395世帯
- 市町村数 Municipalities 15市10町1村
15 cities 10 towns 1 village
- 面積 Area 4,612,97km²



平成20年

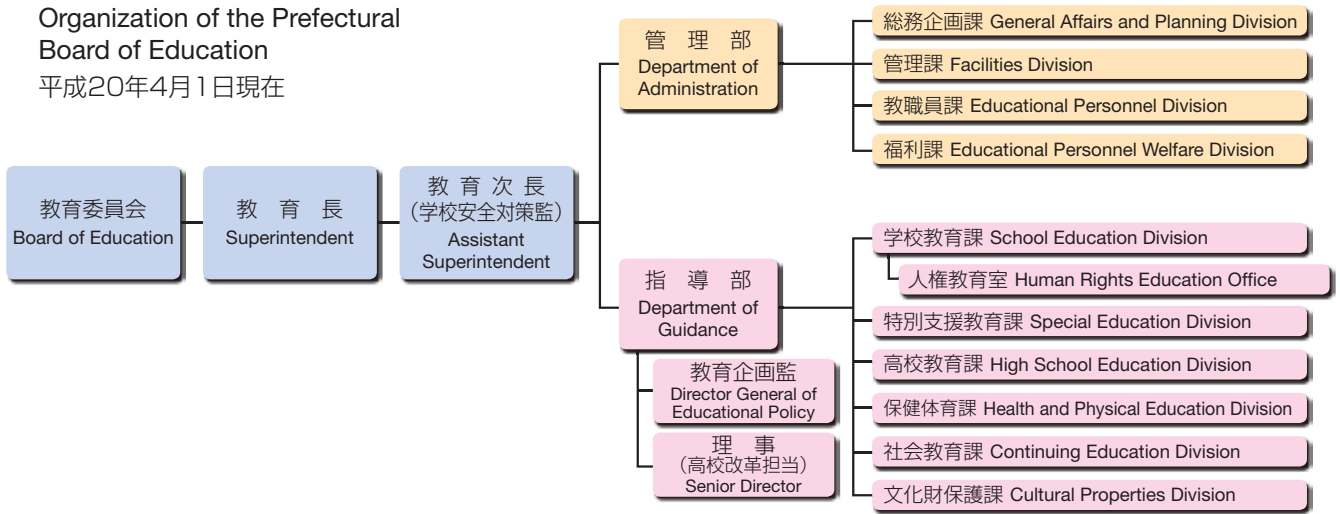
 京都府教育委員会

KYOTO PREFECTURAL BOARD OF EDUCATION

教育委員会の機構・予算 Organization and Budget

教育委員会の機構

Organization of the Prefectural Board of Education
平成20年4月1日現在



地方機関

- 乙訓教育局 Otokuni Regional Education Office
- 山城教育局 Yamashiro Regional Education Office
- 南丹教育局 Nantan Regional Education Office
- 中丹教育局 Chutan Regional Education Office
- 丹後教育局 Tango Regional Education Office
- 埋蔵文化財事務所 Archaeological Research Office

教育機関

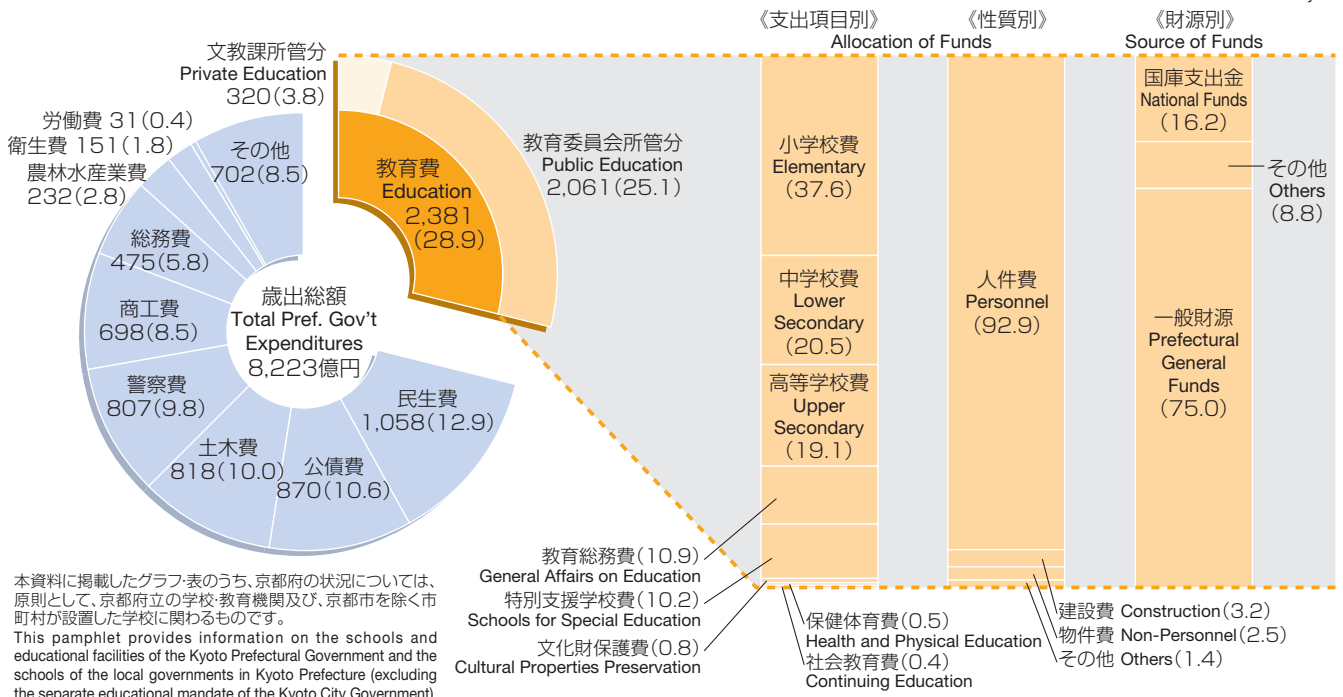
- 府立学校(高等学校及び附属中学校、特別支援学校) Prefectural Schools (Senior High Schools and Affiliated Junior High Schools, Schools for Special Education)
- 総合教育センター Education Center
- 総合教育センター北部研修所 Northern Branch of Education Center
- 府立図書館 Prefectural Library
- 府立南山城少年自然の家 Minamiyamashiro Youth Outdoor Education Center
- 府立丹波少年自然の家 Rurikei Youth Outdoor Education Center
- 府立婦人教育会館 Women's Education Center
- 府立山城郷土資料館 Yamashiro Regional Museum
- 府立丹後郷土資料館 Tango Regional Museum

附属機関

- 京都府教科用図書選定審議会 Textbook Selection Council
- 京都府産業教育審議会 Industrial Education Council
- 京都府スポーツ振興審議会 Sports Promotion Council
- 京都府社会教育委員 Continuing Education Committee
- 京都府文化財保護審議会 Cultural Properties Preservation Council

平成20年度教育委員会所管予算(当初) Board of Education Budget for the Fiscal Year 2008

※()は%
単位:億円
Unit: hundred million yen



本資料に掲載したグラフ表のうち、京都府の状況については、原則として、京都府立の学校・教育機関及び、京都市を除く市町村が設置した学校に関するものです。
This pamphlet provides information on the schools and educational facilities of the Kyoto Prefectural Government and the schools of the local governments in Kyoto Prefecture (excluding the separate educational mandate of the Kyoto City Government)

夢や希望を持って世界にはばたく人づくり

「『京の子ども、夢・未来』プラン21」(4つの柱、7つの重点目標、21の主要施策)を指針として時代の進展等に対応した京都府の教育改革を計画的・総合的に推進します。

A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進	きらきらひとみ・授業プラン	①基礎・基本を徹底して学力の充実・向上を図ります。 ②京都式少人数教育など一人一人を大切にすることを充実します。 ③進路希望を実現する能力や意欲・態度を育てます。
	未来デザイン・応援プラン	④多様で柔軟な教育システムによる特色ある高校教育を推進します。 ⑤ノーマライゼーションの進展などに対応した特別支援教育を推進します。
	地球みらい・創造プラン	⑥国際社会に生きる人材を育てる国際理解教育を推進します。 ⑦循環型社会を目指す環境教育を推進します。 ⑧IT時代にふさわしい情報教育を推進します。 ⑨本物と最先端にふれる科学技術教育を推進します。
B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実	あったかハート・元気プラン	⑩道徳教育や豊かな体験活動の推進、「京の子ども 明日へのとびら」の活用などにより心の教育を充実します。 ⑪豊かな心をはぐくみ、国語力を高める読書活動を推進します。 ⑫スクールカウンセラーの配置など心の教育のサポート体制を充実します。 ⑬「共生社会」の実現に向けた人権教育を充実します。 ⑭文化財の保護・活用を図るとともに、芸術文化活動を充実します。 ⑮「する・みる・ささえる」スポーツ活動と健康教育を充実します。
	がんばる先生・支援プラン	⑯教員の意欲を高め、指導力の向上を図る研修などを充実します。 ⑰教職員の資質・能力を高める教職員評価制度などの取組を充実します。
C 府民の信頼を高める学校づくり	安心・信頼の学校推進プラン	⑱安心・安全な教育環境づくりを推進します。 ⑲学校評議員制度や保護者などの声を生かした学校評価の実施などにより、開かれた学校づくりを推進します。
	子育て・コミュニティ育成プラン	⑳子育てに関する学習機会など家庭教育への支援を充実します。 ㉑地域社会全体で子どもを育てる環境づくりへの支援を充実します。
D 家庭・地域社会の教育力の向上		

まなび教育推進プラン及び府立学校キャリア教育推進プラン

「『京の子ども、夢・未来』プラン21」の具体化を図るため、府民参画の視点を取り入れたアクションプラン「まなび教育推進プラン」及び「府立学校キャリア教育推進プラン」を策定しました。

まなび教育推進プラン

子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるため、学習習慣の定着や自ら学ぶ力を育成する取組の充実、また、「子どものための京都式少人数教育」などの施策を推進します。

児童生徒一人一人の学力の充実と向上を図るため、「子どものための京都式少人数教育」の更なる充実

- 30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実
- 現地・現場の判断を重視した一層柔軟な取組の推進

児童生徒に学習習慣を定着させ、自ら学ぶ力の育成を図るための取組の推進

- 土曜日などを有効に活用した取組の充実
- 家庭との連携を一層強め、学習習慣の定着を図る取組の充実

府立学校キャリア教育推進プラン

高校生段階で将来を見通した勤労観・職業観をはぐくむことができるよう、教育内容の充実にむけた施策を推進します。

企業やNPO等民間施設と連携した教育内容の充実

- 府立高校で生徒の進路希望に応じたインターンシップ等体験活動や外部講師による講話の実施
- キャリア教育に精通する企業関係者や学識経験者を府立高校に派遣し、キャリア教育に係る教員研修や生徒に対する進路相談の充実

時代のニーズに応じた職業教育の充実

- 時代のニーズに応じ、求められる能力や専門知識が身に付けられるような職業学科の施設・設備の充実

地域の担い手を育てる高校教育の充実

- 産業界等と連携を図り、地域の担い手を協同で育成する教育システムを職業学科設置高校で研究

A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進

1 きらきらひとみ・授業プラン

Projects to Stimulate Students with Motivational Classes



確かな学力の向上と自己実現

Improvement of Solid Academic Abilities and Self-Realization

基礎・基本を徹底して、学力の充実を図り、「生きる力」を育てる授業

Quality Lessons which Ensure Acquisition of Basic Abilities and Skills, Improve Academic Abilities and Foster 'Zest for Living'

学力の充実・向上に向けた各学校の取組を支援するため、現地現場主義に基づく先導的な研究開発や実践研究の推進、成果の普及による学力及び教職員の指導力の向上等に取り組んでいます。

昨年度は、全国学力・学習状況調査における京都府の課題を分析・考察するため「京の学力向上検討委員会」を設置し、「質の高い学力を求めて」と題する提言を行うとともに、学校改善支援プランなどの資料を作成し、南北2会場で府内の全小中学校を対象としたフォーラムを開催しました。

京都府教育委員会が指定する「京のこども、夢・未来校」においては、各学校が企画・立案する学力向上プログラムをもとに公募する「学力向上公募校」や、各教育局で管内の実情に沿った課題を設定して指定する「教育課題対応校」に加え、平成19年度からは、教育課程の改善と質的充実を図るという観点から、教科等における拠点校となる「カリキュラム開発校」を指定し、さらに平成20年度は、学習指導要領改訂への具体的な対応としての「活用型学力」の育成等を図るため、京都府総合教育センターの研究機能との連携を進めながら、「単元パッケージ」の開発に取り組んでいます。

また、児童生徒の学習状況を的確に把握、分析することによって課題を明らかにしながら、指導内容や指導方法などを工夫・改善し、学力の充実・向上を図ることをねらいとして、小中学校の課程の中間段階である小学4年生と中学2年生において、「小学校基礎学力診断テスト」（国語・算数）「中学校学力診断テスト」（国語・数学・英語）を実施しています。

さらに、平成19年度から、小学校の早い段階における生活習慣の確立と学習習慣の定着に向けた取組を一層推進するため、学校を拠点に家庭との橋渡し役を担う「まなびアドバイザー」を配置しています。

In order to support each school's endeavors to enhance their students' academic abilities, the Kyoto Prefectural Board of Education has been promoting educational research and development in local schools and disseminating the successful methods and results with a view to improving teachers' teaching skills and enhancing students' academic abilities.

In the last academic year, we set up a special committee to analyze the results of a national survey of academic abilities and learning processes and to clarify the problems and challenges in Kyoto Prefecture. The committee made proposals concerning the strategies to enhance the quality of students' academic performances. We also created resources to assist schools in improving their school performance and held forums for elementary and junior high school students in the north and south of Kyoto Prefecture.

Among the schools designated for educational research and development by the Prefectural Board of Education are the following: School for Effective Development of Academic Ability, for which schools can make their own plans and apply for designation; School Investigating Strategies to Respond to Current Educational Challenges, designated by regional education offices; and Curriculum Development Schools which act as educational hubs for the betterment of curriculum and teaching. In FY2008, we, as a joint effort with the Kyoto Prefectural Education Center, are developing unit packages with a view to fostering abilities to utilize knowledge and skills. This is in response to a revision of the Course of Study of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

We also conduct diagnostic tests of basic academic abilities of 4th graders (Japanese language and arithmetic in elementary school) and diagnostic tests of academic abilities of 8th graders (Japanese language, mathematics and English language in junior high school).

Furthermore, we appoint advisors for learning, who will act as a liaison with students' families for the purpose of forming learning habits and a preferable lifestyle at an early stage of elementary school education.

子どものための京都式少人数教育

Improving the Student-Teacher Ratio - Implementation of 'The Kyoto System'

義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させるために必要な教員を配置しています。小学校1・2年生では、30人を超える学級を基本として、2人の先生によるきめ細かな指導を進めています。また、平成20年度から2年計画で、小学校3年生から6年生までにおいて30人程度の学級編制が可能となる教員配置を行い、学校や児童生徒の状況などに応じて、少人数授業やチームティーチング、少人数学級を市町村教育委員会の判断で選択して実施できるようにしています。平成17年度からは、中学校1年生の30人を超えるすべての学級で英語・数学の少人数教育を充実しています。

During the 9-year compulsory education period, we apply 'The Kyoto System for an Improved Student-Teacher Ratio' so that each student can acquire and enhance their academic abilities. Basically, the team-teaching system is adopted for grades 1 and 2 of elementary school. In FY2008 and 2009, we plan to appoint the number of teachers to make it possible to form a homeroom class of approximately 30 students for grades 3-6, enabling each municipal board of education to select the most appropriate teaching system such as small group lessons, team-teaching lessons or small home-room classes, depending on the characteristics of the school. Since FY 2005, small group lessons have been provided for English and mathematics for 10th graders in junior high school if the number of students in a class exceeds 30.

▶ 進路意識を高める高大連携の推進

Promoting Collaboration Between Senior High Schools and Universities so as to Raise Students' Awareness about their Future Career Options

大学コンソーシアム京都との連携を進めるとともに、京都大学や同志社大学など19の大学と包括協定を締結し、高校生が大学の先生から様々な学問分野の専門的な講義を受ける機会を設けたり、教職を目指す大学生を教育ボランティアとして活用したりすることによって、学ぶ意欲や進路意識を高める取組の充実を図っています。文部科学省指定「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業」では、北部の府立高校と大学を京都みらいネットで結び、双方向授業を展開しています。

Through cooperation with University Consortium Kyoto and Comprehensive Agreements for collaboration with 19 universities including Kyoto University and Doshisha University, senior high school students can take part in a variety of specialized lectures provided by university professors. Senior high schools can also utilize university volunteer students. This allows senior high school students to strengthen their motivation to learn and raise their awareness of career options. Senior high schools in the north of Kyoto prefecture are connected with the universities via Kyoto Mirai Network to conduct interactive lessons.



2 未来デザイン・応援プラン Projects to Assist with Students' Plans for their Future

多様な個性や能力の伸長 Valuing Individual Characteristics to Develop Personality and Diverse Competences

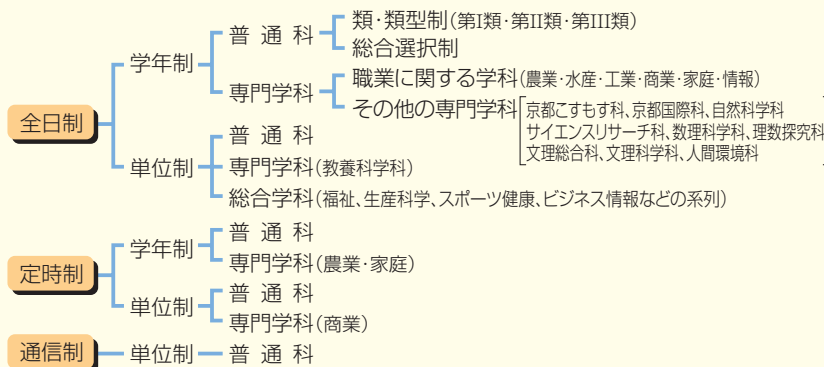
高校教育 Upper Secondary School Education

府立高校の教育制度

Kyoto Prefectural Upper Secondary School System

府立高校では、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすため、多様な学科、類・類型、系統を設けています。

Prefectural Upper Secondary Schools have a variety of courses designed to value and develop each student's individual characteristics and full potential.



府立高校改革の推進

Promoting Reform in Kyoto Prefectural Senior High Schools

現在、府立高校は、国際化、情報化、高齢化などの社会の変化、生徒の個性化・多様化の進行、生徒の減少に伴う学校の小規模化など多くの課題に直面しています。また、21世紀社会では、高度化、複雑化した社会をたくましく生き抜き、様々な分野において主体的・創造的に活躍する人材が求められています。

こうした課題や社会の要請に応えるため、京都府教育委員会では、府立高校改革の基本的な考え方や施策の骨組みを示すため、「中学生から選ばれる高校づくり・希望する高校を選べるシステムづくり」と「活力ある多様な教育活動が展開できる学校規模の適正化・適正配置」を観点とする「府立高校改革推進計画」を策定して、中高一貫教育の実施、入学者選抜制度の改善、専門学科の充実など具体的な取組を進めるとともに、山城地域においては、高校の再編整備による新たな魅力ある学校づくりを進めてきています。

また、京都市・乙訓地域の入学者選抜制度については、これまで以上に主体的に希望する高校を選択できる通学区域や選抜方法へと改善するため、懇談会からの「まとめ」や府民説明会での意見を踏まえ、関係市町教育委員会とも十分連携して協議を進め、改善事項として決定しました。今後は、高校で学ぼうとする生徒達が、自らの進路希望に基

づき、特色ある学校を主体的に選べる入学者選抜の実現に向けて取り組んでいきます。

At present, prefectural senior high schools face the following challenges: globalization, a rapidly aging and information-based society, individualization and diversification of students, and difficulties caused by the reduction of school size due to the declining numbers of student enrollment. In the 21st century, it is necessary to nurture and cultivate talented human resources who will be creative and active in various fields of highly advanced and complex societies.

In order to clarify the basic policies of the prefectural senior high school reform, the Kyoto Prefectural Board of Education formulated a 'Reform Promotion Plan for Prefectural Senior High Schools' with the following views: making senior high schools more attractive to junior high school students, allowing junior high school students greater opportunities in terms of applying for senior high schools, and ensuring optimum school size and enrollment to enable active educational activities of various kinds. Under this plan, the following concrete measures are taken: a unified junior and senior high school education system, an improved admission selection system for senior high schools, the improvement of specialized subject courses, and the restructuring of senior high schools in the Yamashiro school district.

Also, regarding the admission system to senior high schools in the Kyoto City and Otokuni area, we devised a new admission system to allow students to choose from more options based on their career wishes in a more positive manner. The new system was determined by respecting the proposals from concerned educators' discussions, considering the opinions expressed in local community meetings to explain the system, and in close cooperation with local municipal boards of education.

ノーマライゼーションの進展等に対応した特別支援教育

Special Support Education for Normalization in Education

発達障害を含め、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、生涯にわたって心豊かでたくましく生きる力を培う特別支援教育を進めています。

幼・小・中・高校においては、校内委員会の設置や特別支援教育コーディネーターの指名など、障害のある幼児児童生徒を学校全体として支援する体制の充実に努めています。

また、府立特別支援学校では、障害の重度・重複化及び多様化に対応した専門的な教育機能の向上に努めるとともに、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすため、医療・福祉等関係機関と連携しながら、幼・小・中・高校等への巡回相談や府民への教育相談などを実施しています。

We promote special support education to meet the individual needs of children and students with disabilities including developmental disorders for the purpose of fostering zest for living to enable them to live a positive and rich life throughout their lifetime.

In kindergartens, elementary, junior high and senior high schools, each individual school sets up a committee and appoints coordinators for special support education in their schools to improve the support system



for the students with disabilities. Prefectural special support education schools function as a central institution for special support education in the local area and offer consultation visits to kindergartens, elementary, junior high and senior high schools in collaboration with medical and welfare institutions.

3 地球みらい・創造プラン Projects to Enhance Global Awareness

社会の変化に適切に対応する能力の育成

Cultivating Abilities and Skills in Students to Meet the Demands of a Changing Society

国際社会に生きる人材を育てる国際理解教育 Education for International Understanding

国際社会に主体的に生きる日本人の育成という観点から、外国人との交流等の実践的な活動を通して、児童生徒一人一人が広い視野を持ち、自国及び世界の文化や伝統について理解し尊重する態度や、異文化を持つ人々と共に生きる資質や能力をはぐくみます。

With a view to fostering Japanese who can live a proactive life in an international community, we offer several educational opportunities. For example, we offer exchanges with foreign people to enable students to broaden their mental horizons and cultivate their attitudes towards understanding and respecting the cultures and traditions of both their home country and foreign countries. We aim to foster their abilities and skills to live together with people from different cultural backgrounds.



持続可能な社会をつくる環境教育の推進

Environmental Education for a Sustainable Society

持続可能な社会をつくる環境教育を推進し、学校・家庭・地域社会が連携して環境保全やよりよい環境の創造のために、児童生徒が主体的に行動できる態度や能力を育てます。

We promote environmental education in an effort to create a sustainable society. Schools, homes and communities cooperate and cultivate in their children and students the proactive attitudes and abilities to preserve the environment while creating a better one.



府立桂高校「屋上緑化の取組」

IT時代にふさわしい情報教育 Informaiton Education for the IT Age

IT時代を担う子どもたちが情報モラルの必要性を理解し、情報社会に参画する態度などの情報活用能力を身に付けるとともに、情報機器を活用した魅力ある授業や交流学习などの学習機会を通して、確かな学力を築き、新しい時代をたくましく生きる力をはぐくむ施策を展開します。

Policies are implemented in order to raise students' awareness of the importance of information ethics and to have students acquire information literacy including positive attitudes towards participation in the society of the IT age. Also, we aim to encourage zest for living in a new age by fostering academic abilities through attractive lessons and exchange activities utilizing ICT devices.



府立木津高校

教育情報ポータルサイトを開設

Establishing educational information portal site

授業や教科研究など幅広い教育活動に活かせるよう、教育情報の総合窓口となる教育情報ポータルサイト「京育ナビ」を開設しています。このホームページでは、授業で活用できる画像・映像等のデジタル教材の紹介、府内外の教育関係ニュースの発信のほか、教育に関する話題について、教職員がテーマごとに情報交流したり、意見交換や研究を深められる場を設けています。

URL <http://kjpts.kyoto-be.ne.jp/>

The educational information portal site Kyoiku Navi has been in operation to support teachers in their planning of wide-range educational activities. This website offers digital teaching materials such as images and video clips to be utilized for lessons, as well as education-related news from both inside and outside the prefecture. There are also sections where teachers can exchange information and ideas on different topics.

URL <http://kjpts.kyoto-be.ne.jp/>



本物と最先端に触れる科学教育 Exposing Students to Cutting-Edge Technologies in Science Education

理数系分野において、第一線で活躍する研究者・技術者を学校に招いて実施する「特別講座」や、生徒が大学や研究機関、企業等を訪問し、大学教授等から直接指導を受けるなど、より高度な実験・実習や最先端の科学技術を体験する取組を実施しています。

このような活動を推進するため、国が進める次世代を担う若者への理数教育の充実に関する施策の一環である「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」、「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)」等を積極的に活用しています。

As a part of efforts to promote science education, students are offered special programmes in their schools conducted by leading researchers and engineers and they also have opportunities to make visits to universities, research institutions and companies to receive direct instruction from university professors etc. These will allow students to experience advanced laboratory experiments and cutting-edge technologies.

In order to further promote such educational activities, we utilize 'Super Science High School' and 'Science Partnership Project' as a part of national government policies to promote science and technology education.



府立西舞鶴高校

B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実



4 あったかハート・元気プラン

Project to foster humane qualities and provide empowerment

豊かな人間性の育成と健康教育の充実

Cultivating Rich Humanity and Improving Health Education



心に響く道徳教育 Effective Moral Education

豊かな人間性や社会性を培うことを目指し、学校の教育活動全般を通じ、児童生徒の願いや課題、それを取り巻く今日の状況を考慮しながら、人間としてよりよく生きようとする意欲や自覚、道徳性をはぐくんでいきます。心の教育の充実に資する京都府独自の学習資料集「京の子ども 明日へのとびら」が完成し、「活用事例集」も添えて、府内の小中学校生に配付しました。京都に関わりがあり、各分野で活躍中の執筆者による書き下ろし文を中心に、人間にとって不易のテーマを子どもとともに大人も学び合うことができる資料集となっており、学校・家庭・地域等において幅広い弾力的な活用が期待されます。

また、各界の著名人を府内の小・中学校に派遣し、心に響く授業を行う「京の子どもへ夢大使派遣事業」（「明日への夢大使」派遣事業）を実施したりするなど、道徳教育の充実に努めています。

With fostering a well rounded character and good social skills as a goal, students are encouraged to develop high morality and to mature as individuals to live a better life as a human being through all educational activities at schools. The Kyoto Prefectural Board of Education distributes original moral study booklets entitled Children of Kyoto -Vision for Tomorrow to elementary and junior high schools in Kyoto Prefecture. It is a compilation of essays about life written by renowned people who have close connections to Kyoto. It is expected to be read and utilized in schools, families and local communities. Furthermore, prominent people in various fields give lessons at elementary and junior high schools to enrich the quality of moral education.

ボランティア活動等の体験活動

Social Action Programmes

府立高校、特別支援学校の児童生徒が、募金活動などのボランティア活動により、地域の人々との交流やふれあいを通じて、社会参加に取り組んでいます。



府立網野高校
「ミャンマー・中国大災害救済街頭募金活動」

Students of prefectural senior high schools and schools for special support education are encouraged to interact with people in the community through volunteer activities such as fund-raising campaigns.

「豊かな心」をはぐくむ体験活動

Hand-on-Activity to Nurture 'Mind and Spirit'



府内の全小・中学校で、身近な施設や事業所などにおける仕事探求や職場体験など、「豊かな心」をはぐくむ体験活動を推進しています。また、受け入れる企業等を登録する「職場体験活動情報バンク」を設置し、地域ぐるみで子どもたちの豊かな人間性を育成する活動を支援しています。

子どもの読書活動の推進

Promotion of Children's Reading Activities

平成16年3月に「京都府子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、家庭や学校、地域社会が互いに協力しながら、社会全体での読書活動を推進しています。

子どもたちが言葉に対する興味・関心を高めることで、より本に親しみ、豊かな心をはぐくむことをねらいとした「声に出して読もう! in京都」の実施、推薦図書「京の子ども110選」の作成、また子ども読書の日(4月23日)の啓発事業として「子ども読書絵てがみコンテスト」などを実施しています。

Since the creation of 'The Plan for Promoting Children's Reading Activities' in March 2004, we have been promoting reading activities in families, schools and local communities with a view to fostering students who enjoy reading and are able to develop life-long reading habits.

For the purpose of nurturing children's minds and hearts by fostering the children's curiosity and interest in language and their attachment to books, we created 'Selection of 110 Recommended books for Children in Kyoto'. We also conduct the campaign 'Let's Read Aloud' and hold 'The Children's Picture Post Card Contest' as an event on the Children's Reading Day (April 23rd).

All elementary and junior high schools have programs which enable their students to gain work experience in a variety of fields, for example, in company offices, institutions or workplaces in local communities. The Bank of Companies Supporting Students' Work Experience (a directory of the companies which support the program) has proved effective in promoting support for the education of young people in local communities.

人権教育 Human Rights Education

学校教育においては Human Rights Education in Schools

教育の機会均等を図り、学力の充実や進路保障に努めるなど、一人一人を大切にされた教育の推進を図るとともに、基本的人権や同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と人権尊重の実践的態度を培う教育を進めています。また、研究推進地域等において学習内容や指導方法の工夫・改善を行い、その成果を府内の全ての学校に広めるなど、積極的な研究実践活動を推進しています。さらに、教職員の指導力向上を図るため、京都府総合教育センターや各学校において研修を行っています。



人権教育研究発表会(亀岡市菟田野小学校)

We promote education for every child through efforts to provide equal opportunity in education and to enhance their academic abilities and secure their future career options.

We also aim to foster students' respectful attitudes towards human rights by assisting them in gaining appropriate recognition of fundamental human rights and human right issues including Dowa issues.

In designated areas, schools engage in the research and development of teaching methods and materials and disseminate the successful results to all the schools in the prefecture. In order to further improve teaching skills, various kinds of training and seminars are held at the Kyoto Prefectural Education Center as well as at schools.

社会教育においては Human Rights Education in society

個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、府民の実践につながる自発的な学習活動の促進に努めています。

Aiming at the realization of a society where individual dignity and human rights are respected, efforts are being made to deepen people's understanding and recognition of the principles of respect for human rights and the related issues including Dowa issues. Citizens' voluntary learning activities are promoted.

健康安全教育 Health and safety education

学校において安心・安全な環境を確保し、児童生徒の心身の健康を守り、はぐくみ、正しい知識と望ましい実践的態度を培うため、学校保健、食育、学校給食、学校安全に関する様々な課題に対応した事業や専門家による研修会を実施しています。

We conduct various programmes and professional training seminars concerning school health, dietary education, school meals and school safety in order to ensure a safe school environment where we can nurture the minds and hearts of our children and students, securing their mental and physical health.



幼稚園教育 Kindergarten Education

幼稚園では、自発的な活動としての遊びを通じて、総合的な指導により人間形成の基礎を培います。幼児期の生活のほとんどを占める遊びには、幼児の成長や発達にとって重要な体験が多く含まれています。

Through comprehensive guidance in kindergartens, which emphasizes spontaneous play, the basis for character formation are founded.

Infants spend most of their time playing. This experience contributes to their growth and development.

不登校総合対策の充実 *Improvement of comprehensive Countermeasures against Non-Attendance at Schools*

学校におけるカウンセリングなどの教育相談体制の充実を図るため、臨床心理士を「スクールカウンセラー」として配置し、児童生徒や保護者、教職員への助言・援助等を行っています。また、不登校対策の充実を図るため、「学校に登校できるが、教室に入りにくい児童生徒」に対して相談室等で相談・学習支援を行う「心の居場所サポーター」の配置、「外出はできるが学校には登校できない児童生徒」に対して学校との連携や学習評価等に関する調査研究を民間施設に委託する「フリースクール連携推進事業」、「家庭にひきこもり傾向の児童生徒」に対してインターネット等ITや学習シートを活用した相談活動や家庭学習支援などを行っています。

So as to improve the educational counseling system at schools, clinical psychologists are assigned to each school as school counselors, giving advice and assistance to students, parents and teachers as necessary. Furthermore, special support staff members are assigned and engage in academic assistance and consultation in counseling rooms for the students who have difficulties in being in a regular classroom with other students.

We also conduct a special programme for students who can not attend formal schools but can go to free schools. The programme investigates the effective cooperation between formal schools and private institutions and the appropriate academic evaluation methods in those situations. We also offer academic support and consultation through the Internet and study sheets for stay-at-home students who withdraw from social life.

スポーツ活動や芸術文化活動 *Sports, Art and Cultural Activities*

運動・スポーツをする習慣を身に付けるために

Cultivating Sports and Exercise Habits



子どもたち一人一人が、運動やスポーツをする習慣を身に付け、自己の体力を向上させることができるよう、平成20年4月に「体力向上指導の手引きThe First Step」授業実践事例集を作成、配付し、各学校において児童生徒の実情に即した取組を進めています。

府立高校普通科第Ⅲ類体育系では、授業や運動部活動において、スポーツドクターやトレーナー、コーチなどによる専門的指導を取り入れるなど、将来スポーツリーダーとして活躍する人材を育成しています。

We compiled a collection of model lessons for building physical strength and distributed copies of the collection to local schools. Local schools engage in physical education, encouraging individual students to form habits of physical exercise, enjoy sports and improve their overall physical strength. In the physical education course in prefectural senior high schools, they invite sports doctors, trainers and coaches to offer specialized guidance to their students in order to foster future leaders in sport.

▶▶ 京都府スポーツ振興計画 *Kyoto prefecture sports promotion plan*

平成16年3月、今後10年間にわたる京都府のスポーツ振興の指針となる「京都府スポーツ振興計画」を策定しました。この計画では、総合型地域スポーツクラブの手法を活用して「生涯スポーツ社会」の実現を図ることとしています。

そうした中、府内各地でクラブの創設・育成が進むとともに、府立高校においても学校の特色を活かしながら地域と連携したクラブづくりを進めています。

In March 2004, we formulated a 10-year guiding principle of promoting sports in the prefecture, entitled 'Kyoto Prefecture Sports Promotion Plan.' With this plan, we aim to foster a society which embraces life-long involvement in sports by utilizing comprehensive local sports clubs.

Corresponding with this plan, sports clubs have been established and steadily expanded in local communities. Prefectural senior high schools collaborate with local communities to promote sports club activities utilizing the schools' individual athletic strengths.

文化の力をはぐくむ「京育」推進

Nurturing cultural power - promotion of 'kyoiku' (Kyoto-style cultural education)

平成18年度開催の第30回全国高等学校総合文化祭「京都総文」の成果をもとに、高校の文科系部活動を活性化させ、京都の伝統文化を次の世代へ引き継ぎ、その活動を地域の皆さんや小・中学生に伝える「文化の力をはぐくむ『京育』推進事業」を昨年度から実施しています。これにより、小・中学校や地域の皆さんとの交流を積極的に行い、平成23年に京都で開催される第26回国民文化祭に向けて芸術文化活動の振興を図ります。

Based on the success of the 30th National Senior High School Cultural Festival in 2006, we initiated the Kyoto-Style Cultural Education Project for the Cultivation of Cultural Power last year. With this project, we revitalize the cultural activities of senior high schools in order to allow for various kinds of traditional Kyoto culture to be passed on to future generations through exchanges between senior high school students and local residents. This initiative also includes junior high and elementary school students. Through these active exchanges, the promotion of art and cultural activities will be strengthened during the lead-up to the 26th National Culture Festival, which will take place in Kyoto in 2011.



府立洛西高校

文化財保護 Protection of Cultural Properties

京都の伝統文化の承継 ～心と技を伝える～

Passing on Kyoto's Tradition and Culture-its Heart and Skills to Future Generations

文化財の修理、防火施設の設置や後継者育成などに対して補助を行うなど、文化財を後世に伝えるよう努めています。府内の歴史・考古・民俗資料がいっぱいのふるさとミュージアム山城・丹後（府立山城・丹後郷土資料館）では、展示のほか伝統文化の体験教室も開催しています。

Every effort is being made to pass on our cultural properties to future generations by providing special subsidies for the repair of cultural assets, the installation of fire prevention facilities and the training of new craftsmen, etc.



智恩寺文殊堂(本堂)

■国指定・登録文化財(平20.6.1)

Number of Cultural Properties Designated by the National Government (As of June 1, 2008)

種別	区分	京都府				全国			
		国宝	重文	計	登録	国宝	重文	計	登録
美術工芸品 Arts and Crafts	絵画	52	456	508		157	1795	1952	
	彫刻	37	365	402		126	2497	2623	
	書跡・典籍・古文書	98	719	817	-	282	2300	2582	1
	工芸品	15	160	175	-	252	2158	2410	1
	考古資料	3	24	27	-	42	522	564	1
	歴史資料	-	15	15	1	2	150	152	3
※建造物 Buildings	件数	(48)	286	286	300	(213)	2328	2328	7010
	棟(基)数	(60)	571	571	300	(257)	4210	4210	7010
記念物 Memorials	特別史跡名勝天然記念物	(14)			1	(161)			28
	史跡名勝天然記念物	131				2850			
重要無形文化財 Important Intangible Properties	保持者	芸能	件数	3		38			
			人	3		56			
		工芸技術	件数	10		43			
			人	11		55			
重要民俗文化財 Important Folklore		有形	3		206				
		無形	9		257				
重要文化的景観 Important Cultural Scenery		-				7			
重要伝統的建造物群保存地区 Historical Architecture Preservation Areas		7				80			
選定保存技術 Selected Preservation Techniques	保持者	件数	19			47			
		人	20			51			
	保存団体	件数	6			25			
		団体	6			26			

※注 建造物には国宝と重要文化財の両者で一件とするものがあるので重要文化財の数に国宝を含めた。史跡名勝天然記念物の件数には、特別史跡名勝天然記念物を含めた。

■京都府指定・登録文化財(平20.4.1)

Cultural Properties Designated & Registered by the Prefectural Government (As of April 1, 2008)

種別	区分	指定	登録	計	
美術工芸品 Arts and Crafts	絵画	50	8	58	
		彫刻	42	8	50
	工芸品	39	9	48	
		書跡・典籍	14	1	15
	古文書	34	8	42	
	考古資料	19	1	20	
	歴史資料	12	1	13	
	計	210	36	246	
※建造物 Buildings	件数	98	81	179	
	棟(基)数	275	136	411	
無形文化財 Intangible Properties	工芸技術	件数	6	-	6
		保持者(団体)	8	-	8
	芸能	件数	1	-	1
		保持者(団体)	2	-	2
民俗文化財 Folklore	有形	2	12	14	
	無形	19	69	88	
	計	21	81	102	
史跡名勝 天然記念物 Memorials	史跡	21	-	21	
	名勝	17	-	17	
	天然記念物	15	5	20	
	計	53	5	58	
文化財環境保全地区 Cultural Environment Preservation Areas				決定 68	
選定保存技術 Techniques	件数			選定 2	
	保持者及び保存団体			認定 3	
文化的景観 Cultural Scenery				選定 3	
合計 Total	指定 389 登録 203		決定 68 選定 5	665	

※注 建造物の棟(基)数並びに無形文化財及び選定保存技術の保持(保存)団体の認定件数は合計に含めない。

C 府民の信頼を高める学校づくり

5 がんばる先生・支援プラン Project to Support Excellence In Our Teachers

意欲・情熱を持った教員の育成

Supporting enthusiastic teachers, who are committed to their work

「教師力」の向上を目指す研修の改善・充実 Programs to Improve Teaching Ability

府民の期待に応えられる「高い指導力」、「豊かな人間性」、「広い社会性」、「高度な専門性」を持った教員の育成と教員の大量退職・採用時代の到来により生じる喫緊の課題に対応するため、研修体系を大幅に見直し、京都府総合教育センターの機能充実を図るとともに、地元京都の大学や大学院、民間企業等との連携を強めながら、現地現場性を踏まえた様々な研修を実施していきます。

With the nearing approach of teachers retiring en masse, it is necessary to cultivate young faculty who have effective teaching abilities, high levels of expertise, well-rounded characters and social skills. To achieve this goal, we take the needs of the local schools into consideration and drastically review the teacher training system, improve the functions of Kyoto Prefectural Education Center and implement a variety of training programs in collaboration with universities (both undergraduate and graduate courses) and private enterprises in Kyoto.

教員の資質を高める新しい人事管理システム New Personnel Management System

意欲と情熱をもって熱心に取り組む教職員の努力に報い適切に評価する一方で、指導力に課題がある教員には厳正な対応を行う人事管理システムを導入し、教員の資質能力の向上に努めています。

京都府教育委員会では、平成18年度から全府立学校、市町村立小・中学校で教職員評価制度を実施しています。

To improve teacher quality, a new personnel management system has been introduced to reward enthusiastic teachers duly and also to take meaningful authoritative action when teachers fail to perform professionally.

School staff evaluations are implemented in all prefectural schools and municipal elementary and junior high schools.

次代の教育を担う教員の養成 The Training of Teachers

大学の教員養成を支援する観点から、教員志望者の学生を対象に、教員としての実践力を養成するインターンシップ「教員養成サポートセミナー」を平成16年度から大学と連携して実施しています。

また、京都府の小学校教員を目指す学生に、学校の優れた実践を学ぶ場を提供し、将来の京都府の教員として活躍できる資質を高める「教師力養成講座」を平成20年度から開講するなど、今後の学校教育を支える人材の育成に取組み、府民から信頼される学校づくりを進めています。

We have been collaborating with universities, holding teacher training seminars and offering hands-on training to help would-be teachers acquire effective teaching skills since FY2004.

We have been making efforts for schools to gain more trust from communities in Kyoto Prefecture. As part of the efforts to develop human resources for the operation of our schools, we started to offer opportunities for would-be elementary school teachers to learn excellent educational practices at local schools.

6 安心・信頼の学校推進プラン

Projects to Develop a Safe and Secure School Environment

保護者や地域社会に信頼される学校づくりの推進

Development of school Environment to Achieve a Trusting Relationship with Parents and the Communities

安心・安全な教育環境づくり

Establishing Safe and Secure Learning Environments

児童生徒が安心・安全で快適な学校生活を送ることができるよう、府立学校の改築や屋上防水工事、設備改修工事等を計画的に行っています。

特に、校舎などの耐震化工事については引き続き最重点課題と考え、早期かつ計画的な実施に努めています。

To ensure students' safety and security at school, reconstruction, waterproofing rooftops and repairing facilities are planned and being carried out. Priority has continued to be given to the quake proofing of school buildings.

学校の安全管理の整備・充実

Improving School Security

各学校(園)における防犯教室・訓練の実施や、学校(園)独自の危機管理マニュアルの改善を推進するとともに、子どもたちの安全確保を図るため、学校での取組に加え、スクールガード・リーダー(警察官OB)による巡回指導や京の子ども・地域安全セミナーの開催により、地域ぐるみの取組が広がるよう努めています。

We encourage each educational institution to make their school crisis management manual usable and effective through crime prevention drills. In addition to school procedures, we encourage local communities to devise security measures, and make use of 'school guards' in order to ensure students' safety.

評価と公開を軸とした学校づくり

Keys to Improving School Performance: Evaluation and Disclosure of Information

京都府教育委員会では、全府立学校、市町村立小・中学校で「学校評価」の取組を推進しています。

この評価は、学校が保護者や地域の人の願いや期待をしっかりと受けとめ、これに主体的に応えていくためのシステムを確立するため、児童生徒や保護者のアンケート等も活用し、教育活動その他の学校運営の状況について点検し、改善と発展を目指す仕組みです。

また、子どもの健やかな成長を図っていくという観点から、その結果について公表し、学校関係者や第三者の評価を取り入れながら、家庭や地域社会と連携・協力してより一層地域社会に開かれ信頼される学校づくりを推進しています。

We promote the implementation of school evaluations in all prefectural schools and municipal elementary and junior high schools. The school evaluation is a system to allow each school to grasp their own performance and to respond to the wishes and expectations of parents and communities. We utilize the results of questionnaires answered by students and parents to review educational activities and school management for the improvement of school performance.

To facilitate children's healthy growth, we also disclose the results of the review, referring to the evaluation results by the school staff and a third party in order to further cooperate with children's and students' homes and local communities.

D 家庭・地域社会の教育力の向上

7 子育て・コミュニティ育成プラン

Project to Assist Child Rearing within the Community

家庭・地域社会との連携強化

Stronger ties between families and local communities

家庭の教育力の向上

Improving Educational Function of the Family

すべての教育の出発点である家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育機能を高めるため、子どもののぞましい生活リズムを地域全体ではぐくむ「早寝・早起き・朝ごはんプラスワン」運動の推進や就学前の子どもを持つ親を支援する「親のための応援塾」の開催を支援しています。

また、24時間対応の教育相談窓口を設置するなど、いじめや不登校、子育てについての悩みや不安を持つ子どもや保護者に対する相談体制の整備に努めています。

We hold child-rearing support classes for parents, where parents learn wisdoms regarding child rearing and matters related to forming children's good lifestyles, including the habits of keeping early hours and eating breakfast. This is a part of efforts to help parents review home education as the base of all kinds of education and enhance family educational function.

Furthermore, a round-the-clock counseling service to consult about problems such as bullying, nonattendance and worries about child-rearing was established and is in operation for both children and parents.



地域社会全体で子どもを育てる環境づくり

Facilitating Community-Based Child-Rearing

国の放課後子どもプランを活用し、京都府の独自性も加えた「京のまなび教室」の開催支援や、障害のある子どもと一緒に体験に取り組む「京のわくわく探検事業」を実施し、土曜日・放課後などにおける子ども達の学習活動や体験活動等の一層の充実に努めています。

また、府民の多様な学習ニーズに応えるため、府立学校の教育機能の特性を活かし、「府立高校サタデー広場活動事業」で、子どもから大人までの学習・体験活動をはじめ生涯学習講座を実施しています。

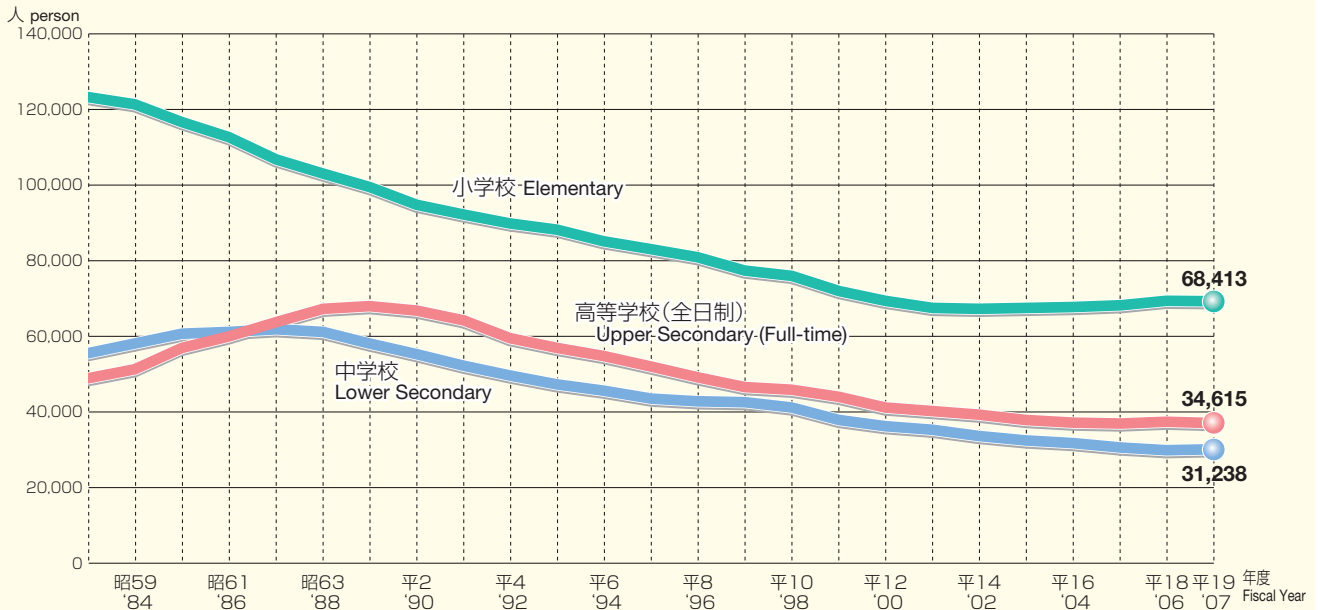
地域社会と協働し、様々な学習活動や体験活動をととして地域力の再生をめざすとともに、地域社会全体で子どもを育てる環境づくりを進めます。



By utilizing a national plan for children's after-school activities, we promote the enhancement of children's learning and hands-on activities on Saturdays and after school on weekdays, through 'The Exciting Exploration in Kyoto' where disabled children take part in hands-on activities with non-disabled children and we render support to 'The Kyoto learning lesson' project.

In addition, so as to accommodate various academic needs of both children and adults in the prefecture, we hold lifelong learning seminars entitled 'Prefectural Senior High School Saturday Plaza Project' by utilizing the resources and educational function of prefectural schools. In cooperation with residents of the entire prefecture, we try to revitalize the power of the local community to create an ideal environment for child-rearing.

■児童生徒数の推移 Number of Students

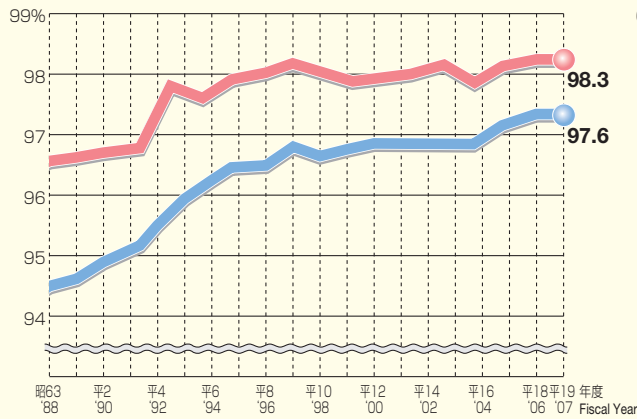


■進学率の推移

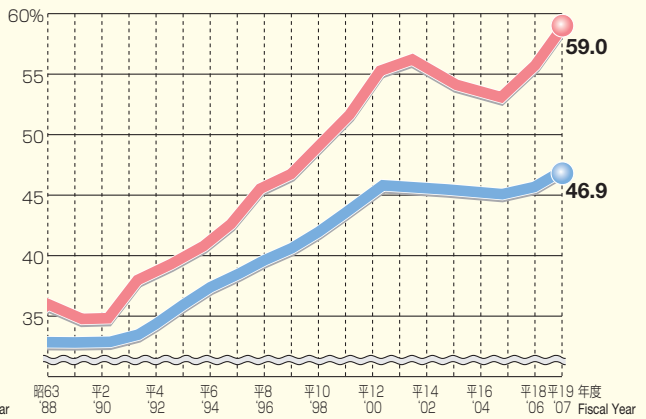
Ratio of Students Who Advance to Upper Secondary Schools & Colleges

■ 京都府(京都市立を除く) Prefectural (Not Including Kyoto City)
■ 全国(公立) Nationwide (Public)

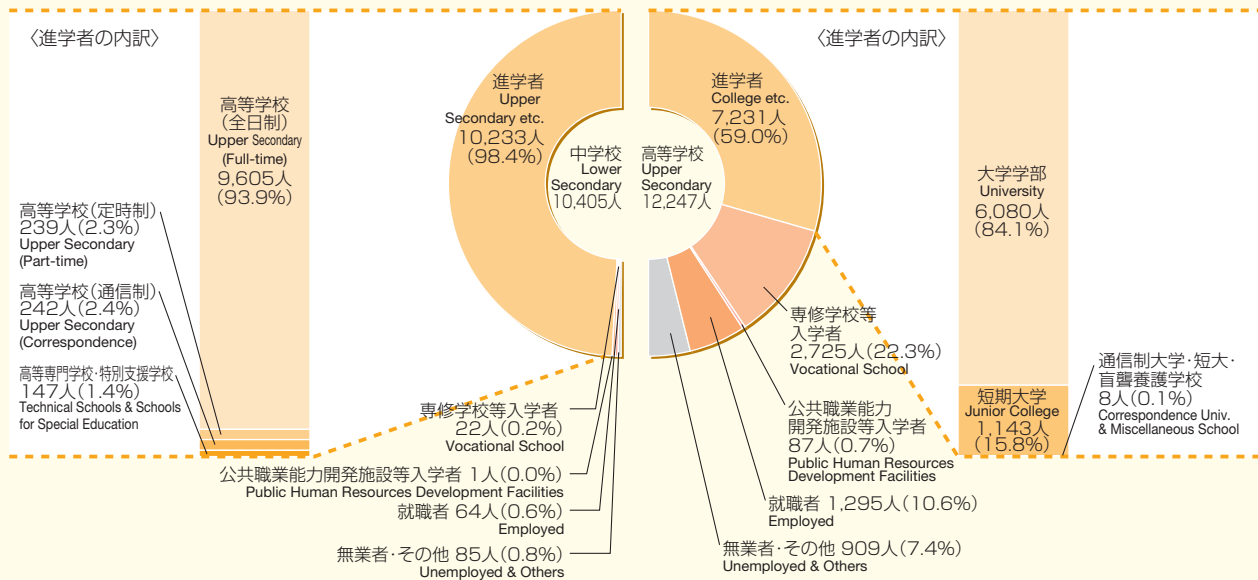
中学校から高等学校へ to Upper Secondary etc.



高等学校から大学へ to College etc.



■卒業後進路状況(平19.3) Career Choices after Graduation (As of March, 2007)



平成20年度現在

公立高等学校 ()内は定時制 Public Upper Secondary Schools

学校名	学科等
1 山城	普 I II 文理総合
2 鴨沂	普 I II (普)
3 洛北	普 I II III 附属中学校
4 北稜	普 I II
5 朱雀	普 I II (普単位制)
6 洛東	普 I 普総合選択制
7 鳥羽	普 I II III (普)
8 嵯峨野	普 I II 京都こすもす
9 北嵯峨	普 I II
10 北桑田	普 I II 農
11 美山	(農 家庭)
12 桂	普 I II 農
13 洛西	普 I II
14 桃山	普 I II 自然科学 (普・商単位制)
15 東稜	普 I II
16 洛水	普 I II
17 京都すばる	商 情
18 向陽	普 I II III
19 乙訓	普 I II 商
20 西乙訓	普 I II
21 城南	普 I II 教養科学単位制
22 東宇治	普 I II
23 西宇治	普単位制
24 菟道	普 I II
25 城陽	普 I II
26 西城陽	普 I II III
27 京都八幡	普総合選択制
28 南	普総合選択制 商 人間環境
29 久御山	普 I II III
30 田辺	普 I II 工
31 木津	普 I II 農 商
32 南陽	普 I II サイエンスラーナ
33 亀岡	普 I II III 数理科学
34 南丹	普 I II 総単位制
35 園部	普 I II 京都国際・附属中学校 京都国際・福祉
36 農芸	農
37 須知	普 I II 農
38 綾部	普 I II III
39 東	農(普)
40 福知山	普 I II 文理科学
41 三和	(農 家庭)
42 工業	工
43 大江	普総合選択制 商
44 東舞鶴	普 I II
45 浮島	(普)
46 西舞鶴	普 I II 理数探究
47 宮津	普 I II 工
48 伊根	(普)
49 海洋	水産
50 加悦谷	普 I II III
51 峰山	普 I II 工
52 弥栄	農 家庭
53 網野	普 I II 商
54 間人	(普)
55 久美浜	総単位制
56 洛陽工	工(工)
57 伏見工	工(工)
58 西京	エンタープライジング (普)附属中学校
59 錦駝美術工芸	美術工芸
60 音楽	音楽
61 堀川	普 I II 人間探究・自然探究
62 日ヶ丘	普 I II 英
63 柴野	普 I II III
64 塔南	普 I II 教育みらい

- 全日制・定時制・通信制併置高校
Upper Secondary Schools (full-time, part-time and correspondence)
- 全日制・定時制併置高校
Upper Secondary Schools (both full-time and part-time)
- 全日制・通信制併置高校
Upper Secondary Schools (both full-time and correspondence)
- 全日制高校
Upper Secondary Schools (full-time)
- 定時制高校
Upper Secondary Schools (part-time)
- 特別支援学校
Schools for Special Education
- 分校
Branch Schools
- ◇ 併設型中高一貫教育校
Schools of unified middle and high school education



特別支援学校 Schools for Special Education

学校名	学部
1 盲	幼 小 中 高
2 舞鶴	幼 小
3 豊	幼 小 中 高
4 舞鶴	幼 小
5 桃山養	小 中 高
6 向日が丘養	小 中 高
7 城陽養	小 中 高
8 南山城養	小 中 高
9 丹波養	小 中 高
10 亀岡	小 中 高
11 中丹養	小 中 高
12 舞鶴養	小 中 高
13 行永	小 中
14 北吸	小 中
15 与謝の海養	小 中 高
16 呉竹総合支	小 中 高
17 桃陽総合支	小 中
18 鳴滝総合支	小 中 高
19 東総合支	小 中 高
20 白河総合支	高
21 西総合支	小 中 高
22 北総合支	小 中 高

その他の教育機関等 Other Educational Facilities

- 1 京都府教育庁
- 2 乙訓教育局
- 3 山城教育局
- 4 南丹教育局
- 5 中丹教育局
- 6 丹後教育局
- 7 埋蔵文化財事務所
- 8 総合教育センター
- 9 総合教育センター北部研修所
- 10 府立図書館
- 11 府立南山城少年自然の家
- 12 府立り深少年自然の家
- 13 府立婦人教育会館
- 14 府立山城郷土資料館
- 15 府立丹後郷土資料館

※注
高等学校(全日制普通科)の通学地域は、原則として通学圏(色分けして表示)の範囲内である。なお、専門学科の通学区域については、学校・学科ごとに教育委員会規則で決める。

※note
Kyoto Prefecture as divided by color into Upper Secondary School Zones.

学校基本数一覧 General Survey Of Schools

平成20年5月1日現在 (As of May 1, 2008)

区 分 Classification		学校数 Number of Schools			学級数 Number of Classes	園児・児童・生徒数 Number of Students			本務教員数 Number of Teachers					
		本 校 Main Schools	分 校 Branch Schools	計 Total		男 Male	女 Female	計 Total	男 Male	女 Female	計 Total			
幼稚園 Kindergartens	公 立 ①	67	-	67	224	2,390	2,287	4,677	10	354	364			
	京都市を除く③	50	-	50	173	1,891	1,798	3,689	4	280	284			
	京都市立 ④	17	-	17	51	499	489	988	6	74	80			
	国 立 ⑤	1	-	1	5	66	71	137	1	6	7			
	私 立 ⑥	162	-	162	1,157	13,434	13,528	26,962	102	1,692	1,794			
	計	230	-	230	1,386	15,890	15,886	31,776	113	2,052	2,165			
小学校 Elementary Schools	公 立 ①	429	5	434	5,525	70,184	66,779	136,963	3,128	5,318	8,446			
	京都市を除く③	248	2	250	2,894	35,165	33,484	68,649	1,656	2,840	4,496			
	京都市立 ④	181	3	184	2,631	35,019	33,295	68,314	1,472	2,478	3,950			
	国 立 ⑤	2	-	2	31	500	496	996	20	27	47			
	私 立 ⑥	9	-	9	118	1,721	2,273	3,994	104	117	221			
	計	440	5	445	5,674	72,405	69,548	141,953	3,252	5,462	8,714			
中学校 Lower Secondary Schools	公 立 ①	176	1	177	2,151	31,678	29,779	61,457	2,749	1,833	4,582			
	府 立 ②	2	-	2	9	142	214	356	36	19	55			
	京都市を除く③	98	-	98	1,055	15,708	14,999	30,707	1,399	941	2,340			
	京都市立 ④	76	1	77	1,087	15,828	14,566	30,394	1,314	873	2,187			
	国 立 ⑤	2	-	2	22	394	397	791	28	22	50			
	私 立 ⑥	25	-	25	260	3,614	4,997	8,611	292	206	498			
計	203	1	204	2,433	35,686	35,173	70,859	3,069	2,061	5,130				
高等学校 Upper Secondary Schools	全日制 Full-time	公 立 ①	56	3	59	1,063	19,962	20,060	40,022	2,244	888	3,132		
		府 立 ②	47	3	50	911	16,956	17,401	34,357	1,852	717	2,569		
		京都市立 ④	9	-	9	152	3,006	2,659	5,665	392	171	563		
		国 立 ⑤	1	-	1	...	291	309	600	27	9	36		
		私 立 ⑥	39	-	39	...	13,631	14,303	27,934	1,278	496	1,774		
	計	96	3	99	...	33,884	34,672	68,556	3,549	1,393	4,942			
	定時制 Part-time	公 立 ①	<7>	<1>	5	<8>	5	97	1,144	633	1,777	205	64	269
		府 立 ②	<4>	<1>	5	<5>	5	68	784	537	1,321	126	46	172
		京都市立 ④	<3>	-	<3>	-	29	360	96	456	79	18	97	
		私 立 ⑥	2	-	2	...	171	285	456	24	10	34		
	計	<7>	<1>	5	<8>	7	...	1,315	918	2,233	229	74	303	
	通信制 Correspondence	府 立 ②	<2>	-	<2>	-	...	580	666	1,246	22	12	34	
		私 立 ⑥	<3>	-	<3>	-	...	133	163	296	16	4	20	
		計	<5>	-	<5>	-	...	713	829	1,542	38	16	54	
	特別支援学校 Schools for Special Education	公 立 ①	17	5	22	655	1,370	780	2,150	676	900	1,576		
府 立 ②		10	5	15	416	800	463	1,263	414	597	1,011			
京都市立 ④		7	-	7	239	570	317	887	262	303	565			
国 立 ⑤		1	-	1	9	42	23	65	14	16	30			
計		18	5	23	664	1,412	803	2,215	690	916	1,606			
合 計 Total	公 立 ①	745	19	764	9,715	127,308	120,984	248,292	9,034	9,369	18,403			
	府 立 ②	59	13	72	1,404	19,262	19,281	38,543	2,450	1,391	3,841			
	京都市を除く③	396	2	398	4,122	52,764	50,281	103,045	3,059	4,061	7,120			
	京都市立 ④	290	4	294	4,189	55,282	51,422	106,704	3,525	3,917	7,442			
	国 立 ⑤	7	-	7	...	1,293	1,296	2,589	90	80	170			
	私 立 ⑥	237	-	237	...	32,704	35,549	68,253	1,816	2,525	4,341			
	計	989	19	1,008	...	161,305	157,829	319,134	10,940	11,974	22,914			

(注1) 「...」は、非調査項目

(注2) 区分の「京都市を除く③」は、京都市立学校を除く府内市町村立学校を表す。

(注3) 高等学校の学校数で、< >内は全日制と併置している学校数を表し、外数である。

※note ① Public ② Prefectural ③ Not Including Kyoto City ④ Kyoto City ⑤ National ⑥ Private

“...” is non-investigated item. < >:Part-time existed with Full-time